

第1回 杉並公会堂 ベヒシュタイン室内楽コンクール



日時・場所

予選

公開

2019年10月12日(土)・13日(日) 開始予定10:00 終了予定21:00
杉並公会堂小ホール

本選

公開

2019年10月14日(月・祝) 開始予定10:00 終了予定21:00
杉並公会堂小ホール

受賞者記念コンサート

2019年10月19日(土) 開演18:45 終了予定21:30
杉並公会堂大ホール

杉並公会堂 〒167-0043 東京都杉並区上荻1-23-15 TEL:03-3220-0401
※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

コンクール申込書

受付日:2019年1月1日(火・祝)より 締め切り日:2019年9月15日(日)まで ※当日消印有効

要項のお取り寄せやお問い合わせにつきましては下記までご連絡ください。
都合により内容等、予告無く変更する場合がございますので予めご了承ください。

コンクール目的・趣旨

第1回杉並公会堂ベヒシュタイン室内楽コンクールは、アンサンブル楽曲演奏においても高い潜在能力を誇るベヒシュタインについて、ピアニストはもちろんのこと、共演する室内楽奏者にその魅力を存分に感じて頂き、ベヒシュタインだからこそ創り出せる音楽の新たな可能性を見出して頂くことを主眼に開催いたします。

部門及び参加資格

ピアノを含む2名～6名の室内楽編成(連弾・2台ピアノ・声楽除く)
プロフェッショナル部門:年齢35歳まで
アマチュア部門:年齢制限なし

C. BECHSTEIN
KLAVIERSCHULE

— — — — — 演 奏 課 題 — — — — —

プロフェッショナル部門：自由曲（連弾・2台ピアノ・声楽除く）
予選・本選同曲不可、複数曲可、繰返し無し（演奏時間 予選12分・本選35～45分）

アマチュア部門：自由曲（連弾・2台ピアノ・声楽除く）
予選・本選同曲可、繰返し無し（演奏時間 予選7分・本選12分）

※編曲作品は原則不可、演奏曲目についてご不明な点がございましたらお問い合わせくださいませ。

使用ピアノ C.BECHSTEIN D280 フルコンサートグランドピアノ

参加費 1団体予選本選一括30,000円

— — — — — 表 彰 ・ 賞 — — — — —

各カテゴリーの中で1位から3位を表彰し、表彰状および記念品を授与致します。

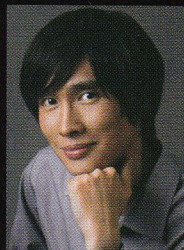
賞 金

プロフェッショナル部門第1位
100,000円
プロフェッショナル部門第2位
50,000円

副 賞

プロフェッショナル部門第1位…シリーズとして杉並公会堂小ホールにて1回、
汐留ベヒシュタインサロンにて2回、計3回のコンサートを開催
プロフェッショナル部門第2位…杉並公会堂小ホールにて1回のコンサートを開催
アマチュア部門…杉並公会堂小ホールにて第1位～3位までの合同コンサートを開催

審 査 員



近藤 嘉宏 (Pf)

川崎市出身。桐朋女子高等学校(共学)を経て桐朋学園大学を首席卒業、その後ミュンヘン国立音楽大学マイスターコースにおいて名匠ゲルハルト・オピッツに師事。1987年日本音楽コンクール第2位。1992年ミュンヘン交響楽団との共演でデビューし大成功を収め、国内では1995年に正式デビュー。以来日本を代表するピアニストとして第一線で活躍、Denon、Philips、Deccaなど数多くのレーベルから30枚以上のCDをリリース。欧米、韓国など国際的にも演奏活動を展開、ウィーンのムジークフェラインやニューヨークのカーネギーホールにも出演、また海外の音楽祭にも招かれている。ソリストとして国内外のオーケストラに客演、ネーメ・ヤルヴィ、トーマス・ザンデルリンク、クリスティアン・マンデル、外山雄三、秋山和慶など多くのマエストロとも共演を重ねており、その音楽性に厚い信頼が寄せられている。



末永 匡 (Pf)

桐朋学園大学、ベルリン芸術大学、フライブルグ音楽大学、モーツァルテウム音楽院で研鑽を積む。2006年ドイツ演奏家国家資格を授与される。2009年東京文化会館にて公式デビュー。圧倒的なパフォーマンスが認められ、日本国内はじめアジア、中東、ヨーロッパの各地で国際的な演奏活動を展開。ソロのみならず著名な演奏家との室内楽、国内外のオーケストラからソリストとして抜擢されるなど、数々の共演を重ね成功を収めている。「多様性、自己との対峙、人間存在を問うこと」は末永の音楽哲学の本質であり、自身の音楽を追求する揺るぎない確固たる姿勢は多くの聴衆の共感と呼んでいる。1stアルバム「Intermezzo」がレコード芸術誌にて準特選盤に選出。2ndアルバム「tragico」が秋にリリース予定。所属事務所ミリオンコンサート協会。これまで、中島和彦、G.ミシヨリー、H.ライグラフ、D.クラウス、E.アンドレアスの各氏に師事。



西野 ゆか (Vn)

桐朋学園大学音楽学部を経て同大学研究科修了。第45回全日本学生音楽コンクール第2位。これまでにヴァイオリンを梅津南美子、鷺見健彰の各氏に師事。大学在学中にカルテット・エクセルシオを結成。1996年第2回大阪国際室内楽コンクール第2位。2000年第5回パオロ・ボルチアーニ国際弦楽四重奏コンクール最高位(第2位)及び、サルバトーレ・シャリーノ特別賞受賞。2008年第19回新日鐵音楽賞「フレッシュ・アーティスト賞」、2014年第16回ホテルオークラ音楽賞受賞。2016年6月までの6年間「サントリーホール室内楽アカデミー」にて後進の指導にもあたる。同年、サントリーホール主催ベートーヴェン弦楽四重奏全曲チャクルスを日本の団体として初めて演奏。また2009年よりNPO法人エック・プロジェクトとして活動し、演奏活動、アウトリーチ活動や後進の指導など、弦楽四重奏を中心とする室内楽文化の普及振興に力を注いでいる。



野田 祐介 (Cl)

16歳よりクラリネットを横川晴児に師事。パリ市立第10区音楽院、ヴェルサイユ地方音楽院を経てパリ国立高等音楽院を一等賞を得て卒業。クラリネットをクロード・ドゥシュルモン、アンドレ・ブータル、ギィ・ドゥブリュの各氏に師事。室内楽をピエール＝イヴ・アルトー氏に師事。2003年群馬交響楽団に第一奏者として入団、現在に至る。第6回日本管打楽器コンクール・クラリネット部門入選、第3回日本クラリネットコンクール第3位入賞。プラハ放送交響楽団、ニューフィルハーモニー千葉、群馬交響楽団と協奏曲を共演。NHK-FMリサイタル出演。なにわ《オーケストラ》ウィンズメンバー。群響団員による室内楽《Ensemble G》主宰。習志野シンフォニエッタメンバー。第78回、第81回日本音楽コンクール・クラリネット部門審査員。第4回秋吉台音楽コンクールクラリネット部門審査員。昭和音楽大学、桐朋学園大学音楽学部、東京藝術大学で後進の指導にもあたる。

主催：株式会社ベヒシュタイン・ジャパン・共催：杉並公会堂 [(株)京王設備サービス]

後援：C. Bechstein Pianoforte AG (ドイツ・ベヒシュタイン本社)・一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会 (ピティナ)